

よろしくお願ひします



# 看護部通信



2023年4月

いよいよ2023年、新年度の始まりです。今年は春の訪れが早く、お彼岸のころには気温20度を超える日もあり、桜の開花宣言も早く聞けそうですね。看護部では今年度、新規採用者看護師4名・介護福祉士3名、また循脳センターから異動で看護師2名を迎えることができ、とても心強いです。看護部一人ひとりが目標を持ち、患者様へのより良い看護に繋がるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。(看護管理室)

「人とのつながりを大切に」 M・T

たくさんのお会いがある季節になりました。初心者で口下手な私は、ちょっと緊張する季節です。異動の時期はいつも緊張しますが、同僚に恵まれ、安心感と心地よい刺激を受けながら仕事ができると、「今いる病棟が一番居心地がいいな」と毎回感じます。

対人において意思疎通は欠かせませんが、中でも大切にしていることに「聴く」があります。自分の言動に一人反省会をすることは日常茶飯事ですが、聴いてもらうことで自己解決できることがあります。聴くことで新たな発見ができることもあります。

看護の職場はチームワークが大切と言われます。仲間の言葉に耳を傾け、人とのつながりを大切にしながらチームの一員として尽力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



「新たな気持ちで」 H・K

2012年リハセンに入職させて頂き今年で11年目となりました。精神科病棟の経験しかなかったので回復期リハ病棟への異動を告げられた時、「絶対無理だ」と一人で騒いでいたのがつい最近の出来事のように思い出されます。今では「リハ科、好きかも」と思えるようになった自分を少し笑ってしまいます。回復期リハ病棟では、看護師間での情報共有・コミュニケーションの重要さはもちろんですが、コメディカルスタッフとの情報共有・多職種連携の大切さを実感することができました。改めて貴重な経験ができたことに感謝しております。ありがとうございました。

4月から新しい環境でのスタートに不安や緊張はありますが、今まで以上に患者様やスタッフに信頼されるように頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



「みなさんの支えなしでは成り立ちません」

M・U

厳しい冬の寒さなど忘れるような春風のさわやかな季節となりました。この冬は寒さだけでなく新型コロナウイルスの脅威にもさらされながら、部署の垣根を越えてスタッフが一丸となって困難を乗り越え温かな春を迎えることができました。このような状況を乗り越えられたのも、身近なスタッフ、先輩、上司の支えがあったからこそです。ありがとうございました。

この度、看護師長を拝命し不安は尽きませんが、皆さんからご支援をいただきながら、「虫の目」「鳥の目」「魚の目」の精度を高め、より良い部署を目指していきたいと思ひます。

精神科開放病棟は病床数、スタッフの人数も少ない部署ですが、心細い患者さんや不安なご家族へ寄り添う看護をONE TEAMで取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

